

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	市民総合体育館備品等整備事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	06	03	01
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	スポーツ振興課			
施策	3-5	スポーツ活動の基盤づくり		主管課長	金子 邦晃			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民総合体育館利用者	意図	「する」・「観る」・「支える」スポーツに加え文化事業の場として、子どもから高齢者まで幅広い世代が、様々なスポーツや文化活動を楽しむことができる施設とする。
事業内容	平成28年4月の開館に併せ、27年度はスポーツや文化活動に必要な各種スポーツ備品等を購入するとともに、28年度は各種文化事業を効果的に実施するための映像に関する備品を購入する。			
事業開始から現在までの状況変化	各種スポーツ利用に加え、文化事業等の各種イベント開催のニーズが高まってきている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
①							
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	平成28年4月の開館に併せ、様々なスポーツや文化活動に利用できる施設として、各種スポーツ備品を購入した。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 市民の日頃のスポーツ活動から、各種スポーツ大会、トップアスリートの試合開催に必要な各種スポーツ備品等の購入に努めた。			
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				144,763,196			
事業費(b)(円)				139,115,696			
うち一般財源				131,115,696			
職員給与費(c)(円)				5,647,500			
人役・職員(人)				0.75			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	VI 縮 小 （改善ではなく、他の事業との統合又は縮小すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	コスト縮減等、効果的な予算の執行を図るため、品目に応じ発注を行った。	③取組の課題	平成28年7月に、「健康都市連合日本支部総会・大会」開催が予定されており、開催までに映像に関する備品を購入する。
②今年度(H27)に実施した取組	市民の日頃のスポーツ活動から、各種スポーツ大会、トップアスリートの試合開催に必要な各種スポーツ備品等を購入した。	④今後の改善計画	モニタリングや利用者アンケート等を通じて、利用者ニーズの把握に努め、今後の備品購入の検討を図る。